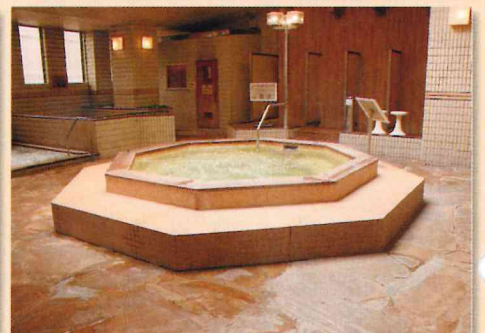


べっぴ 市議会だより

2011.2.1

No. 101



来年度からの指定管理者が決定した市営温泉

「平成21年度一般会計・各特別会計決算を認定」

C O N T E N T S

P2~P4 議決内容ほか

P5 議案質疑「別大毎日マラソン大会負担金について」
「公共交通ICカードシステム整備事業補助金について」

P6~P11 一般質問（20人が市政を問う）

P12 議会活動状況 ほか

12月定例会は、初日に決算特別委員会委員長より継続審査中の平成21年度一般会計・各特別会計の決算の認定について審査報告がなされ、討論、採決の結果認定されました。この後、補正予算や条例案件など29件の議案が上程され、市長の提案理由の説明に対する質疑の後、所管の常任委員会へ付託されました。これらの議案は、所管の各委員会より審査の経過と結果について報告がなされ、採決の結果、原案のとおり可決されました。

継続審査

◎平成21年度別府市一般会計歳入歳出決算及び平成21年度別府市各特別会計歳入歳出決算の認定について（認定）

去る9月定例会において継続審査とした「議第75号平成21年度別府市一般会計歳入歳出決算及び平成21年度別府市各特別会計歳入歳出決算の認定について」は、委員数を倍増（計14名）、日程は5日間とし、これまで以上に決算審査の意義を高めることができました。

委員長より、本議会は議員定数を4人削減する条例を自ら提案可決するなど、議会改革に積極的に取り組んでいる職員人件費についても、定員適正化計画の推進等により職員数の減少はしているものの、類似団体と比較すると職員数が多いことから、市民サービスの確保に弊害をきたすことのないよう、公共サービス改革法の趣旨を踏まえ、できるものから民間委託を進めていくことで人件費を削減するよう要望がなされました。

また、自主財源については、前年度と比較すると増加しているものの、市税の徴収率については、景気の低迷等による高額滞納の増加や、企業倒産等によって収入未済額が増加しており、公平性の観点から一層の徴収努力が必要である等意見が述べられました。

最後に、今後も厳しい財政状況が予想される中、地方自治体においては更なる自主性が求められてくると思われるため、行政の基本である「市民福祉の増進」を念頭に置き、市政発展のため一層の努力・研さんを行うよう求めました。

補正予算

◎平成22年度別府市一般会計補正予算（原案可決）

本議案による補正予算額は、1億860万円で、補正後の予算額は、総額436億4590万円となります。

総務費では、地上デジタル放送に対応するためテレビ共同受信組合を設立し、施設整

備を行おうとする東山2区合棚地区ほか6地区に対する共聴施設整備事業費補助金と、公共交通利用者の利便性向上や道路交通の円滑化を図ることを目的とし、路線バス事業者等が実施する「公共交通ICカードシステム整備事業」に対する補助金を計上しています。

民生費では、地域生活支援に要する経費として、日中一時支援事業委託料と日常生活用具給付費の追加額や、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を財源として、スプリングラーの整備を行う認知症高齢者グループホームに対する補助金を計上しています。

衛生費では、レジ袋削減に向けて取り組む事業者から、レジ袋販売収益金の寄付がありましたので、市内3小学校に生ごみ処理機を設置し、給食調理の過程で発生する生ごみや給食の残菜を堆肥化し、花壇などの肥料とすることにより、給食による残菜の減量化と循環型社会形成への啓発推進を図ります。

また、乳幼児医療助成費に

ついて、予算額に不足が生じる見込みとなりましたので、追加額を計上しています。

労働費では、緊急雇用創出事業として、外国人観光客の受入体制の充実を図るため、市内観光関係者を対象に英語、韓国語、中国語の3か国語の無料語学講座を開催するための外国人旅行者受入推進語学研修事業委託料と、ふるさと雇用再生事業により蓄積された地域情報を市内外に発信し、中心市街地の再生を目指すためのまちなか情報発信強化事業委託料を計上しています。

観光費では、スポーツ大会等の誘致活動の成果により、大会開催等補助金について決算見込額による追加額及び財団法人地域創造の「地域の文化・芸術活動支援事業助成金」の交付決定がありましたので、市民参加のおおいたオペレッタ劇団の育成事業を実施するビーコンプラザの指定管理者に対する補助金を計上しています。

土木費では、国の経済危機対応・地域活性化予備費を活用し、内成地区の災害時の避

難場所への幹線道路であります河内田代別府線の道路改良工事費を計上しています。

教育費では、第60回記念別府大分毎日マラソン大会の開催において、大会参加資格の制限時間の緩和等により、参加者の増加が見込まれるため、これに伴う負担金の追加額を計上しています。

◎平成22年度別府市国民健康保険・競輪・公共下水道・地方卸売市場・介護保険・後期高齢者医療特別会計補正予算

(原案可決)

今回補正する額は、187万1千円で、これを既決予算に加えると、特別会計予算の総額は423億2887万6千円となります。

いずれも人事院勧告による給与改定に伴う人件費の減額と人事異動に伴う所要の調整です。

競輪事業特別会計については、第3スタンド解体工事に伴う本場開催の休止時期にあわせ、老朽化した選手宿舍の空調設備改修工事を行うため所要の経費を計上しています。

◎平成22年度別府市一般会計補正予算 追加分

(原案可決)

「円高・デフレ対応のため」の緊急総合経済対策」を含む国の平成22年度補正予算が成立したことに伴い、地方交付税の追加や新たに創設された地域活性化交付金など地方に対する財源措置が行われました。

今回の補正予算は、これら国の施策と連携し、地域経済の活性化を図るため、国の緊急総合経済対策に本市独自の経済対策を加えた4億8030万円を柱に、総額5億7060万円で、補正後の予算額は442億1650万円となります。

主な内容としては、国の補助事業として、子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの3つのワクチン接種に対する助成として予防接種委託料の追加額や、社会資本整備総合交付金を活用した「関の江平道線外道路整備に要する経費」を計上しています。

また、「きめ細かな交付金」

7392万円に約2億5000万円の一般財源を加え、交付金活用事業と本市独自の緊急経済対策事業を実施します。交付金事業としては、

民生費では、身体障害者福祉センターなど5施設の屋上防水や外壁などの改修費を計上しています。

衛生費では、リサイクル情報センターの空調設備改修工事費を計上しています。

労働費では、勤労者体育センターの側溝等整備工事費を計上しています。

農林水産業費では、林道整備費及び海底清掃委託料等を計上しています。

観光費では、大型国際クルーズ船の寄港準備のための「国際観光船誘致促進協議会負担金」や、老朽化した神楽女湖八ッ橋の改修費及び志高湖野営場周辺駐車場整備費を計上しています。

土木費では、道路改良費、板地川・温水川の護岸整備費、別府公園文化ゾーンの駐車場整備費及び上人ヶ浜公園の張芝整備費等を計上しています。

教育費では、南立石小学校

下水道接続整備費及び温水プールほか4体育施設の整備費等を計上しています。

また、本市独自の緊急経済対策として、道路維持に要する経費及び市営住宅の施設改修費の追加額を計上しています。

なお、事業の執行計画等を勘案し、次年度への繰越が必要な事業については、繰越明許費の補正を行います。

条例の改正

◎別府市役所事務分掌条例の一部改正について

(原案可決)

福祉保健部の分掌事務の見直しに伴い、条例を改正するものです。

◎別府市職員の給与に関する条例等の一部改正について

(原案可決)

人事院の勧告及び大分県人事委員会の勧告にかんがみ、職員の給料月額並びに期末手当及び勤勉手当の額の改定を行うことに伴い、条例を改正

するものです。

◎特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について (原案可決)

職員の給与改定に伴い、市長、副市長、議員、教育長及び水道企業管理者についても期末手当の額の改定を行うため、条例を改正するものです。

◎別府市手数料条例の一部改正について (原案可決)

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部が改正され、特定屋外タンク貯蔵所及び準特定屋外タンク貯蔵所の設置許可等の審査に係る手数料の標準額が引き下げられたことに伴い、条例を改正するものです。

◎別府市公民館条例の一部改正について (原案可決)

別府市婦人会館を北部地区公民館分館に転用することに伴い、条例を改正するものです。

◎別府市火災予防条例の一部改正について (原案可決)

住宅用防災機器の設置及び維持に関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部が改正され、住宅用防災警報器等を設置しないことがでできる場合として、複合型居住施設用自動火災報知設備を設置したときが追加されたことに伴い、条例を改正するものです。

◎別府市職員の給与に関する条例の一部改正について

平成22年12月31日で終了する職員の給料の減額措置を、平成23年12月31日まで延長することに伴い、条例を改正しようとするものです。

その他

◎指定管理者の指定について (計10件について原案可決)

◎別府速見地域広域市町村圏事務組合規約の一部変更について (原案可決)

◎市道路線の認定及び廃止について (原案可決)

◎別府市基本構想の制定について (原案可決)

◎市長専決処分について (承認)



12月 定例議会風景

『行財政・議会改革等推進特別委員会』の経過

12月15日の本会議において行財政・議会改革等推進特別委員会における議会改革の審査経過について委員長より報告がなされましたが、その主な内容は次のとおりです。

市政に関する調査研究に資するため必要な経費として交付されている政務調査費については、平成23年度より、議員1名につき月額7万円を月額4万円に減額することとし、さらに、使途の透明性の確保を図るため、具体的な使途基準を定めている「政務調査費の手引き」についても見直しをすることを決定しました。

また、行政視察旅費についても平成23年度より減額することを決定し、平成22年第1回定例会において、すでに可決されている議員定数の削減(現員29名を25名に減数改定)を含め、年間約4千800万円の削減が図れることとなります。

議員提出議案

議員より意見書5件が提出され、4件が可決されました。
可決された意見書は直ちに関係機関へ送付されました。

- 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)に関する意見書 (原案可決)
- 地方経済の活性化策を求める意見書 (原案可決)
- ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書 (原案可決)
- 介護保険制度の改善を求める意見書 (原案可決)
- 子どもの健やかな育ちを保障する「許可保育制度」拡充を求める意見書 (否決)

12月定例会 会期の経過

11月25日 議会運営委員会

29日 本会議(継続中の議案に対する委員長報告・討論・表決・議案上程、提案理由の説明、議案2件に対する質疑・討論・表決)

12月2日 本会議(議案質疑・委員会付託)

6日 本会議(一般質問)

7日 本会議(一般質問)、議会運営委員会

8日 本会議(一般質問)、議会報・ホームページ委員会

9日 本会議(一般質問、議案上程、提案理由の説明、議案質疑、委員会付託)

10日 各常任委員会

15日 議会運営委員会、本会議(上程中の全議案に対する委員長報告・表決)

議案質疑

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。

12月2日及び12月9日に6名の議員が行いましたが、そのうち主な質疑内容を掲載します。

別大毎日マラソン 大会負担金について

問 今年度の大会は何が大きく変化したのか、大会負担金50万円の増額はなぜ必要なのか説明願いたい。

答 今年度の別府大分毎日マラソン大会は、第60回という節目の記念大会ということ、エリートマラソンの一面を残しつつも、市民マラソン化を視野に入れ、参加資格を緩和するとともに、女子選手の参加を認めることとなりました。このことにより参加者数の大幅な増加が予想されています。スタート地点周辺には選手の更衣や収容等に利用できる施設がほとんどなく、仮設テント及び仮設トイレ等の増設、



輸送手段の増加、給水場設置等、コース周辺整備などさまざまな経費の増大が見込まれることから、負担金の追加額として計上したものです。

問 観光港など、海岸整備がされているので、ぜひ別府市をスタート地点にしたい。いて、多くの参加者、関係者に別府市に宿泊していただき、視察見学等をしていただければ大変ありがたいと思っています。これは要望ということをお願いしたいと思います。

公共交通IC カードシステム 整備事業補助金 について

問 公共交通ICカードシステム整備事業について、予算の簡単な説明と、導入に至った背景、補正になった理由、導入時期について説明願いたい。

答 磁気式の大分共通バスカードシステムは、機器の老朽化により故障が多発しており、

また、全国的には電子マネー機能も有する「Suica(スイカ)」規格でのICカードシステムの導入と相互利用が急速に進行しています。このような背景から、環境省の低炭素地域づくり面的対策推進事業という補助事業を活用したICカードシステムの導入が決定されました。

補正となった理由は、環境省の補助の前倒しが可能となりましたので、平成23年度に予定していました別府市内線、大分市外線のうち大分交通の別府市内に停車がある路線について今回の補正を計上しました。補助対象事業費は5億4,682万7,000円で、補助率は国が2分の1、大分県が10分の1、別府市と大分市で10分の1、事業者の負担は10分の3となっています。

導入時期については、平成23年3月中のサービス開始と伺っています。

問 導入の効果はどうお考えなのか。また、大分共通バスカードはどうなるのか。

答 カードを端末にかざすだけで読み取りが可能となるの

で、視覚障がい者の方や体の不自由な高齢者の方にも、非常に楽な乗降になると思います。また、乗り継ぎ割引や事業者間での相互利用が可能となり、利便性が非常に向上します。

大分共通バスカードについては、当分の間ICカードとの併用が可能です。販売及び併用期間の終了時期、払い戻し等にかかる具体的な予定については、今のところ分かっています。

問 今年の4月からスタートした高齢者の運転免許証の自主返納支援事業を具体的にどうお考えなのか。

答 販売の終了時期と併用期間の終了時期等が年内には確定すると思われるので、新年度に向けて関係各課と十分協議し、遺漏のないように対応したいと考えています。



一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。

12月6日から9日の4日間、20名の議員が市当局の見解をたしました。

主な内容は次のとおりです。

仕事量調査の 職員削減数は

行財政改革クラブ

泉 武弘 議員

問 浜田市長になって8年、やっと仕事量調査ができたが正規職員削減可能数は。

答 報告書では非効率なこと等すべて考慮しない場合、最大で226、6人分。実現性を考慮した場合、122、5人分の業務量が改善できるとなっている。

問 この調査は、現業141名と窓口の職員110名は調査対象となっていない。試算によると窓口と現業の仕事をすべて非常勤職員に切り替えれば約4億円で仕事ができ、年間約7億円削減できる計算となる。今後どのようにするのか。

答 現業部門は3月を目標に作業している。

問 遅きに失した仕事量調査、8年間空白の時間が過ぎた。財政は厳しさを増すことが確実、改革に真剣に取り組んで

ほしい。職員厚生会の21年度決算では、旅行や食事、レジャー施設利用、ボウリング大会などに1100万円の税金が使われている。22年度一部事業の廃止や見直しをしたが、新たにボランティア手当や人間ドックに対する事業がスタートした。この事業に税金の負担は許されない。廃止を含めて見直しすべきだ。

答 見直しをする。

校内暴力及び

南部地区公民館

自民党議員団

首藤 正 議員

問 校内暴力行為が全国的に増加の傾向にあり、別府市立中学校においても、この2年8カ月で105件と多発しているが、どのような対策をとっているか。

答 発生件数が増えているのは異状なことであり、暴力は許されないという意識を各種集会や道德教育、学級活動等



高齢者も利用しやすい施設に

における意識付けと、小さな行爲も見逃さない細やかな指導などの未然防止に努めている。

問 南部地区は、高齢者率の高い地域だが、温泉との複合施設である南部地区公民館は、3階に体育館があり、大きな行事は体育館で実施されるが、お年寄りや車いすの方が上がるのに非常に苦労している。この問題を解決するためにエレベーターを設置すべきではないか。

答 南部地区公民館施設へのエレベーター設置については、設置により、すべての方の利便性が向上し、市民福祉の増

進につながるものと認識しています。今後、バリアフリー化も総合的に判断するとともに、エレベーターの設置について構造的に可能かどうかを検討したい。

スポーツ観光に ついて

自民党議員団

乙呷千代子 議員

問 観光都市として発展してきた別府市は現在スポーツ観光を推奨されています。疲労回復、癒しの温泉が合宿を誘致する際の最大のうたい文句であり、食事の注文に柔軟に対応できるホテルの存在も魅力として挙げられています。その様な状況の中、過去3年間誘致活動による誘致実績はどのくらいでしょうか。

答 様々なスポーツ分野を併せて、延べ34カ所の実績があります。

問 21年度の経済効果はどのくらいでしょうか。

答 約10億3千万円となっており、過去3年間で最大となっています。

問 2月に名古屋グランパスが、実相寺サッカー競技場を使用して春季キャンプを実施予定とお聞きし、誘致活動成果を喜んでいますが、市民スポーツとスポーツ誘致を推進する上で担当課のお考えをお聞かせ下さい。

答 天然芝のサッカー場利用については、使用日数の制限を設けていますが、市民スポーツの施設であることも念頭におき、誘致の推進には十分に配慮、調整に取り組んでまいります。

地獄蒸し工房鉄輪のあり方への疑問

市民の声クラブ

池田 康雄 議員

問 別府市は4億円以上をかけて土地を購入して工房を建てた。そして年間3千万円弱の税金を投入して、その運営を開始した。確かに地獄蒸しは鉄輪特有の料理方法で、これまで細々と受け継がれてきたものに観光資源として光を当てる施策は評価できる。だが、数ヶ月前にほど近い場所に、やはり地獄蒸しを売りにした民間の事業所がオープンした。このことは、事業の展開の仕方では十分事業ベースに乗ることを意味している。別府市は、安易にこの地獄蒸し工房の運営を引き続き税金の支出を伴う指定管理へと移行させるべきではなく、今後毎年税金を投入し続けなくて済む民間活力の活用ができないかを模索するべきである。地獄蒸しを別府・鉄輪の名物として売り出すために行政が

無制限に関与し続けていくとするのは間違いだ。小額でも、土地・家屋の賃料が別府市の収入となれば現在の進め方との差は大きい。検討することを切望するが、執行部の考えを聞きたい。

答 市の持ち出しが少しでも減額できる方法はないか検討させてほしい。

赤ちゃんの駅について

公明党

六井 宏一 議員

問 今、少子化で子どもは地域の宝である。各自治体でも子育て環境の充実のため様々な施策が打たれている。しかし、近年核家族化や地域のつながりが薄れてきたことにより、お母さんが、子育ての不安や孤独感から虐待に発展する状況も出てきている。この様な状況の中で、赤ちゃんと共に安心して外出し、お散歩や買い物の最中でも「オムツ

「湯のまち けんこうパーク」内の授乳室



替えや授乳」ができる施設、いわゆる「赤ちゃんの駅」が、主に福岡県の自治体で始まっているが別府市の現状は。

答 現在、市役所庁内に授乳室1カ所があり、市内の5カ所の子育て支援センターで授乳室を設けているのは1カ所のみです。また、湯のまちけんこうパークにも1カ所あります。

問 本市でも授乳やオムツ替えに気を使わず、お母さんと赤ちゃんが安心して外出できる環境づくり、この「赤ちゃんの駅」の取り組みを検討してもらいたいと思うがどうですか。

答 今後は、市内の公共施設や民間施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、ホームページなど紹介するなど、できる所から取り組んでいきたいと思っています。

新図書館建設について

自民党議員団

松川 峰生 議員

問 市民の方々が待望している新図書館建設については、財政状況等により、別府市学校跡地複合施設整備事業そのものを見直すという結論ができましたが、教育委員会としては図書館の意義についてどのように考えているのか。

答 図書館の基本的な役割である蔵書や資料の収集や提供、利用者ニーズに応じた図書館の在り方などのほか、多くの人が同じ質のサービスを受けられることを前提として、郷土資料や温泉関連の文庫等、別府市の特性を活かした、「知



キャンプ地として利用される実相寺サッカー場

の拠点、生涯学習の拠点施設」であるべきと考えております。

問 新しい図書館に対する考え方は。

答 新しい図書館については多くの方々から関心を寄せられ、また要望をいただいております。この中で、平成21年度に教育関係者や学識経験者からなる「別府市立図書館協議会」を設置し、市立図書館の施設整備やサービスの在り方について意見をいただいております。なお、蔵書整備や施設の在り方については、次期総合計画の中で、前期基本計画の進捗状況や様々なご意見を勘案し、今後も検討していきたいと考えています。

電動カートの安全対策について

公明党

荒金 卓雄 議員

問 高齢者の電動カート利用者が増えている。別府市内の普及状況や利用者数は。

答 大分県内の累計出荷台数は約1万1千台。しかし、登録義務がないため別府市内の利用者数の把握はできていないが、介護保険制度によるレンタルサービス利用者は70名程いる。

問 交通事故の実態は。

答 警察庁の統計では、近年電動車いすによる交通事故が多発している。別府署管内では人身事故はないが、物損事故は2件あった。しかし、届け出がない単独事故や歩行者との衝突事故が発生している可能性がある。

問 大分市の商店街や杵築市の農業文化公園などで、来場者の電動カートいすを無料貸出しているサービスがある。高齢化にに応じて様々な場面で電動カートの利用サービスも提供されると考えられる。すでに豊後大野市では、交通安全協会が主催して交通安全講習会を行っている。高齢化が進む別府市でも先取りした安全対策が重要と思うが、警察や交通安全協会と連携して交通安全教室を計画してはどうか。

答 まず利用実態の把握に努

め、交通安全教室の開催に努めたい。

旧南小学校跡地と道路整備について

自民党議員団

萩野 忠好 議員

問 旧南小学校跡地利用については、議会でいろいろ議論され複合施設計画は白紙となり、校舎の取り壊しとグラウンド整備をする事になった。そこで次の項目について強く要望する。

①跡地に隣接する市道拡幅について。

②新設するトイレや遊具施設の配置は景観に配慮する。

③講堂と幼稚園跡地の今後の計画を考える。また、高齢者が多いので一階に集会所の早期建設を要望する。

答 ①市道の拡幅は歩道を設置する。②トイレは駐車側に設置し、木造管理棟の解体を決定したことから遊具は保留する。



取り壊しが決定した旧南小学校校舎

③幼稚園跡地、集会所等についてはグラウンド整備終了後は、地元の見解及び財政面を勘案し総合的に調整したい。

問 障がい者、高齢者、児童に対して地域で生活しやすいように支援していくためには道路の整備が重要です。歩道はカラー舗装と、白線等が消えているところの整備をすること。

答 道路については市道と県道があり今後も県には要望し、市道は努力いたします。また、永石通りは今年から三年計画でカラー舗装を行います。

住宅改修費の負担 民生委員の定員増

日本共産党議員団

野田 紀子 議員

問 介護保険では高齢者の自宅に手すりを付ける等の住宅改修ができるが、高齢者が一旦費用の全額を支払い後、申請して費用の9割を戻してもらう償還払いを原則としている。費用を受領委任払いにし、高齢者の負担を軽くする方針はないか。

答 受領委任払制度とは、高齢者は、はじめから1割のみを支払い、残りの9割は市から改修業者に支払うようにするものです。高齢者の負担が軽くなるので受領委任払制度の導入の準備をしているところで、改修業者の登録研修等を慎重に行いたい。

問 民生委員は法律で無報酬と決められている。改選時の選任は自治体で推薦に苦勞されたと聞いている。高齢者、子どもの虐待等も増加している。民生委員の定員は170

360世帯に1人と幅があるので、県に定員増と活動費と研修費の増額を要求して、民生委員が働きやすいようにすべきと思うがどうか。

答 民生委員は県知事の推薦で厚生労働大臣が任命する特別職公務員であり、毎年県に増員要望を出している。今後引き続き要望する。

国際観光港の開港に最大の努力を！

自民党議員団

清成 宣明 議員

問 中国から観光クルーズ船の別府港入港予定の報道がなされ、市民も業界も期待が高まっている。また、港湾の整備も進み、背後地の完成も近い。しかし、現実には外国船の入港に関して言えば、CIQ（税関・出入国管理・検疫）の施設が整備されておらず不開港のままである。これを機会に名実共に開港し、国際観光港として内外に向けて宣言

できるよう最大の努力をすべきである。一方、市施工分の背後地には芝張りの大きな広場が出現する。これも利用方法によっては大きな別府市の財産となる。

管理運営面に於いて様々な問題が予想される。管理、運営に万全を期し、観光はもちろん、市民にとって親しめる広場となる様、早急に協議をして欲しい。

答 第4埠頭をはじめ完成間近となっている。CIQはもちろん、背後地も含め、文字通り国際観光港となるよう、管理、利用に最大の努力を傾注したい。市民にも市報等でアピールし大いに活用して欲しいと考えている。

小中学校の統合問題について

新創世会

黒木愛一郎 議員

問 学校適正化検討委員会の答申では、西、青山小学校の

統合は平成24年度。浜脇、山の手中学校は平成27年度となっているが、平成22年12月現在、地元に対して説明がなされていない。地域住民の不安が高まっているが教育委員会の見解は。

答 財政状況などから、耐震化を優先させるため、答申どおりの実施は難しいと思われる。

問 耐震化工事が平成27年度に終了することだが、平成28年度に直ちに統合できるのか。

答 できるだけ早く進めてまいりたいと考えています。



続く小中学校の統廃合問題

問 遅れるという事ならば、不安を抱えた地域住民に、できるだけ早く説明を求める。

答 今議会終了後、教育委員会案を策定し、皆様にお知らせしたいと考えてます。今後は、住民の皆様にご協力いただけるよう、最新の情報を伝えるように努力いたします。

問 子どもの事を第一に考え、言葉を濁さず端的に事を進めていただきたい。

その後の鍋山事件について

市民みんなの会

国実 久夫 議員

問 明礬の鍋山で発生した痛ましい殺人事件により、秘湯へ通じる道路が安全対策を図るため通行止めになって2ヶ月半近くになる。秘湯を訪れる利用者、観光客の利用に供するため、通行止めの解除を早くして欲しいし、出来る事なら日中明るい時間でも解除できないものか。

また、通行止めの解除はいつ頃になるのか。

答 現在、街路灯の設置工事、防犯カメラの設置工事等の防犯対策工事を進めています。

担当課から、今月中で工事が終わる見通しであるという経過報告を受けております。通行止めの解除時期については、今後、関係機関及び関係団体と協議を重ねながら判断していきたい。

この事件が一日も早く解決するように願っています。

消費生活相談窓口の拡充を

社民クラブ

原田 孝司 議員

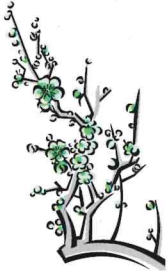
問 市民を対象に消費生活相談窓口を設置しているが、どのような状況なのか。

答 消費者と事業者との契約や解約等で生じたトラブルを解決していくことを目的に消費生活相談の窓口を火・木曜

日午後の毎週2回、多重債務の無料相談を毎月2回開設している。昨年度は消費生活相談が123件、多重債務相談は1年前から始めたがすでに70件の相談があった。解決された事例や解決に向けた方向性も見える事例も多く、一定の成果があがっている。

問 ギリギリになって相談に来る事例も少なくなっている。早ければ早いほど解決しやすいものも多いと聞いている。県内では相談窓口を常設している市もある。相談者が増加している現状から別府市においても受付時間の拡充を、できれば常設できないものだろうか。

答 相談件数や市民ニーズを踏まえて検討したい。また、相談者の立場に立った窓口として、さらに充実を図る必要性がある部分については前向きに改善していきたい。



地獄蒸し工房鉄輪について

自民党議員団

松川 章三 議員

問 今年の3月にオープンした「地獄蒸し工房鉄輪」は評判がいいようにある。総工費2億8千万円かけて設置したが、利用状況をどのように把握しているのか。また設置した効果はどうか。

答 4月から10月までの地獄蒸し釜の使用人数の3万2463人のうち、10人以上の団体客は52組1167人である。また効果は、新聞、雑誌、全国放送テレビで取り上げられており、大手旅行会社の商品としても全国に紹介されている。

問 「地獄蒸し工房鉄輪」を体験学習型観光、滞在型観光の場として、修学旅行等を誘致すべきではないのか。

答 まったく同じ意見である。地獄蒸し料理は古くから鉄輪に伝わる伝統文化であり、上海万博で宣伝してきた。A



鉄輪の伝統文化である「地獄蒸し料理」

PECでは関係者に視察をしてもらった。引き続き国内外に情報発信をしていきたい。

国保税値下げ、住宅リフォーム助成

日本共産党議員団

平野 文浩 議員

問 別府市は「国保財政安定化支援金」の別府市負担分を、この10年間で約9億円も国保会計に繰り入れてこなかった。その一方、平成20

年度には「9億2千万円の累積赤字を5年間で解消する。」と大幅値上げして、県下でも2番目に高くなった。その結果、国保税収納率は県下最低になり、値上げと滞納増の悪循環に陥っている。一般会計からの繰り入れを増やし、高すぎる国保税を引き下げるべきだ。

答 市としても厳しい財政状況の中、平成22年度からは「財政安定化支援事業繰越金」も算定額全額での予算措置をとって、国保会計の改善を図っています。

問 住宅リフォーム助成制度は即効性のある景気対策として、県段階でも秋田県に続いて山形県も実施するなど全国に広がっている。別府市はなぜしないのか。

答 国や県、先進地の動向等を踏まえながら検討したい。

問 温泉排水の木ウ素、フッ素の規制は温泉旅館にとって死活問題。別府市はどう対応するのか。

答 期限までに廉価な除去装置の開発と財政支援を引き続き国に要望していく。

臨時・非常勤職員の待遇について

社民クラブ

加藤 信康 議員

問 行革で市役所正規職員の人数が減っても市の業務量は減ることはなく、今後も臨時・非常勤職員に頼らざるを得ない。正規職員と臨時・非常勤職員との仕事の振り分け、役割分担、働く条件などしっかりとしたルール作りをすべきと思うがどうか。

答 将来的に職員の任用形態の複雑化が予想される。現在事務改善を進めており、今後も市民サービスに支障をきたさないように、それぞれの役割を明確にしていきたい。

問 臨時・非常勤職員の士気を揚げ、優秀な人を確保する手だてとして、正規職員の採用にあたって、臨時・非常勤職員の特別採用枠を作ってはどうか。

答 市民サービスに支障をきたさないように臨時・非常勤職員の研修及び処遇の改善等

は行っていきたい。採用試験の特別枠については、試験制度の中で検討していきたい。市役所の非常勤職員となることにより、民間への就職へのスキルアップに繋がるような仕組みを目指したい。

市長の政治姿勢について

新創世会

長野 恭紘 議員

問 ある会合で、浜田市長は自身の公約について「95%達成できた。」と発言されたらしいがそれは事実か。

答 そのように答えた。間違いない。

問 普通95%公約が実現できれば「お疲れ様でした。」という事だ。残りの5%の為にあと4年間使うおつもりか。具体的に「5%」は何を指すのか。5%はあなたでなくてできないのか。

答 数十項目掲げた公約の中で、100点満点の95点はあ

げてもいいかなという「思い」での数字。残り「5%」は私でなくてもできると思うが、私がやりたい。

問 ゆめタウンの2期計画、シネコン建設などが実現できていないだけでも60点ほどのマイナスをしても良い。95点は甘い。また、市長公約で「2期8年、使い捨てて下さい。その後は若い世代に渡します。」と言って当選された。今回の出馬はその公約を破るもの。私にはその公約を反故にしてまで出馬する動機がわからない。8年間でできなかった事が、あと4年間託してできると思えない。私は政党や特定の利害団体にとらわれず、新しい人達と新しい政治をこの別府で打ち立てていきたい。

学校適正化の 答申について

公明 党

堀本 博行 議員

問 今年2月学校適正化の答

申が示されたが、青山校区の山の手町17組から21組が南立石小学校に、田の湯町と中央町が、中央小学校に統合することが望ましいとあるが、私は山の手町の住民の方々とお話をしたが、自治会の役員の皆様を始め、自治会の運営に支障をきたす等で反対の意見が多いが、住民の多くの反対があれば実施しないという認識でいいか。

答 地域住民の皆様や学校関係者、また、児童、生徒の十分なご理解とご協力がなければ適正化は難しいと考えております。学校適正化の問題については、統合が先にあるのではなく、地域住民また保護者の皆さんの声を十分に大事にしていこう。そして、次世代の子ども達に引き継いでいくという事が最も大切であるという基本的理念を持つております。このままスムーズにいくのかという問題。非常に厳しい状況にあるというふうに私も認識しております。

問 多くの反対があれば、答申どおりには難しいという答弁を頂きました。山の手町、

田の湯町、中央町の声を十分に聞いて頂きたい。

就学援助の拡大と 市街地活性化

日本共産党議員団

猿渡 久子 議員

問 就学援助の補助対象にクラブ活動費などが追加されたが、準要保護の児童・生徒にも支給すべき。

答 新年度からの実施を協議する。

問 近鉄跡地計画の状況はどうか。

答 民間事業者から、「1期工事は市の支援を求めない。諸条件が整えば年明けにも着工したい。」と聞いている。

問 経過から考え難いと思う。方向転換が必要では。日本共産党市議団の市民アンケートにも、「近鉄の場所は早く別府の顔にしてほしい。」「いろいろな店を歩いて体験できるようにしては。」などの意見が寄せられた。市の各



中心市街地の活性化に向けて

課も市街地活性化に努力すべき。

答 銀座街で「布ぞうり体験講座」などリサイクル体験講座を定期的に実施したい。また、毎月「ゆつたりストレッツ教室」を実施する。

問 イズミ誘致により商店街活性化を図るといいう市長の見通しは甘かった。

答 現状はきびしい状況下にあるが、地域経済を立て直す政策を進める。

平成22年 議会活動状況(平成22年1月～12月)

(1) 本会議及び議決件数

区 分		会期日数	傍聴者数	市長 提出議案	議員 提出議案	委員会 提出議案	その他	合 計
定例会	第1回(3月)	29 日	97 人	38 件	10 件	1 件	1 件	50 件
	第2回(6月)	16 日	72 人	22 件	5 件	1 件	2 件	30 件
	第3回(9月)	17 日	73 人	22 件	2 件	1 件	1 件	26 件
	第4回(12月)	17 日	73 人	29 件	5 件	0 件	1 件	35 件
合 計		79 日	315 人	111 件	22 件	3 件	5 件	141 件

(2) 常任委員会

区 分	開催日数	会期中の 開催日数	閉会中の 開催日数	付託件数	調査会 日 数
総務文教委員会	7日	6日	1日	50件	2日
観光経済委員会	7日	5日	2日	19件	2日
厚生消防委員会	6日	5日	1日	32件	0日
建設水道委員会	7日	5日	2日	20件	0日
合 計	27日	21日	6日	121件	4日

(3) 特別委員会等

区 分	開催日数	付託件数
決算特別委員会	7日	1 件
議会運営委員会	14日	一 件
会派代表者会議	1日	一 件
全員協議会	0日	一 件
議会報・ホームページ 委 員 会	8日	一 件
行財政・議会改革等 推進特別委員会	11日	一 件
合 計	41日	1 件

メモ

付託とは

議会の議決を要する事件について、議会の議決に先立ち詳しく検討を加えるために、所管の常任委員会等に審査をゆだねることを言います。

なお、付託される事件は、議案、請願、意見書決議など、議決を要するものとされています。

※この他に、議員が議会代表として、市長等より委嘱され、各種審議会・協議会委員として活動しています。

◆ 本会議はどなたでも傍聴できます。お気軽に議会棟4階へお越しください。

◆ 傍聴席は80席あり、車椅子席も7台分用意しております。

◆ 聴覚障害者の皆様の議会傍聴については、手話通訳、要約筆記の対応をしております。

傍聴を希望される方は、傍聴日の3日前までに大分県聴覚障害者協会にお申し込みください。

〈申込先〉
大分県聴覚障害者協会
大分市大津町1丁目9番5号
TEL 097-5551121
FAX 097-5556105
252

◆ 次の定例会は2月25日(金)から3月17日(木)までを予定しております。

※変更となる場合もあります。

傍聴のご案内

お願い

◎政治家が入学・卒業・就職・結婚・出産などのお祝いや各種会合へ祝儀などの寄附をすることは禁止されています。

◎政治家に、寄附を勧誘・要求することは禁止されています。